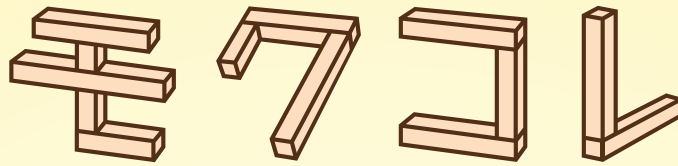


～日本各地の産業活性化を目指す～

ALL JAPAN & TOKYO

WOOD コレクション 2017



日本各地と東京都が連携した木材製品展示会

東京都は、大消費地である東京における木材利用の拡大に向けて、「ALL JAPAN & TOKYO プロジェクト」の一環として、日本各地と東京都が連携し、地域材を活用した建材や家具などの製品展示会を開催します。高い技術を駆使した魅力的な木材製品を多数揃え、皆様のご来場をお待ちしております。

日時：2017.1.19(木) - 20(金) 10:00-17:00
20日は16:00まで

場所：東京ドームシティ プリズムホール

その他：入場無料・事前登録不要

専門家による貴重な講演



魅力的な木材製品が多数



その場で相談可能



出展予定者

1都12県の木材関係事業者等（東京都、岩手県、秋田県、宮城県、福島県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、岐阜県、和歌山県、熊本県、大分県）

会場案内

東京ドームシティ プリズムホール（文京区後楽 1-3-61）

JR中央・総武線（各駅停車）水道橋駅から徒歩4分

丸ノ内線後楽園駅・南北線後楽園駅から徒歩5分

都営大江戸線春日駅から徒歩6分

都営三田線水道橋駅から徒歩3分

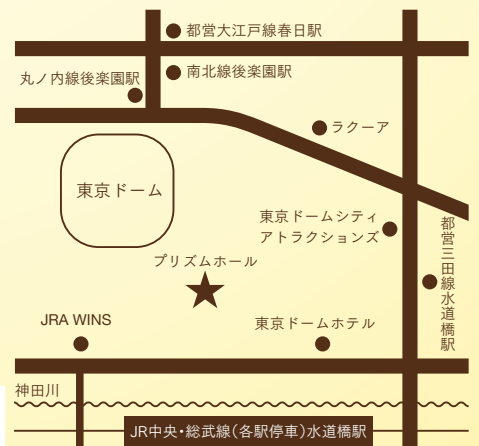
問い合わせ先

モクコレ事務局

〒134-0086 東京都江戸川区臨海町 4-2-2 東丸運輸ビル 3階

TEL：03-6663-4535 FAX：03-6663-4528

モクコレ専用ホームページ：<http://www.mokucolle.jp>



主催 東京都

実施予定セミナー

1月19日(木)

10:30 開始

都市木造の未来 ～木材を見せながら火事に負けない木造建築をつくる～

桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井 昇氏

ここ数年、木造関連の法令が緩和され、これまで木造でつくれなかった規模・用途の建物が木造化されている。また、新しい木質素材である CLT（直交集成板）等の厚板をつかった建物の設計法が整備され、これまでにならぬ工法が出現しはじめた。

「木材を見せながら火事に負けない木造建築をつくる」ための防耐火面の技術開発が活発に行われた結果、都市にどのような木造が建築可能となったのだろうか。

都市木造の未来について、これまで弱点とされてきた“防耐火”面から可能性を語る。

14:00 開始

構造用合板による木造建築の高耐震化と耐震補強

セイホク株式会社 技師長

国立研究開発法人 森林総合研究所 フェロー 農学博士 神谷 文夫氏

熊本地震や阪神淡路大震災では、新耐震基準で建てられた住宅でさえ倒壊するものがある一方で、軽微な被害で留まった住宅も多数あった。まずは、その原因と理由を探り、ついで、その結果を踏まえて、近く襲来すると言われる関東大地震に備えるために、合板を利用すればいかに容易かつ低価格で高耐震住宅が建てられるか、また耐震補強を行うことができるかを語る。さらに、合板の優れた性質を生かして設計された最近の中・大規模建築についても紹介する。

1月20日(金)

10:30 開始

生涯木育が地域を創る

認定NPO法人 日本グッド・トイ委員会 理事長

東京おもちゃ美術館 館長 多田 千尋氏

暮らしや社会に森の恵みを取り入れ、より良い生活を求める。木の力、森の力を借りることで子どもの成長や大人の癒しに活かす。こうした木育を生涯にわたって推進することで、地域にどのような“化学反応”が引き起こされるのか。その木育の可能性と社会的意義を全国の事例を通して語る。

14:00 開始

木造・木質建築の安全安心を支える技術とその適用事例

株式会社 竹中工務店

木造・木質建築推進本部 副部長 小林 道和氏

官民の研究開発の成果が実用化され、これまで多くの都市部での大規模木造建築が実現している。ここでは都市木造の実現でカギとなる技術を適用事例と共に紹介する。

WOODコレクション(モクコレ)とは

大消費地である東京での木材利用の拡大を目的とした、地域材を活用した建材や家具などの製品展示会です。第一回目である昨年度は東京都・長野県・岐阜県の3都県連携で開催しました。今年度は規模を拡大し、1都12県（予定）が連携、水道橋の東京ドームシティプリズムホールにおいて開催します。